

- コンピュータ労働者にふさわしい賃金で、残業を無くし、健康で文化的な生活を。
- 働く者が幸せになる平和なコンピュータ社会を。

# こ ん び ゆ う た

**電算労**  
電算機関連労働組合協議会  
〒110-0003  
東京都台東区根岸3-25-6  
タレット根岸2階  
TEL 03(5603)4570  
FAX 03(5603)7265  
URL <http://www.union-net.or.jp>

## 新年の「あいさつ」

### '24年春闘は——労働者にふさわしい要求を！

電算機関連労働組合協議会 議長 島山仁嗣

新年あけましておめでとうござい  
ます。電算労に結集している組合員  
の皆さん、2024年が始まりました。  
年末年始はどのように過ごされ  
ましたか。コロナが5類に移行し制  
限緩和となりました。しかし冬は感  
染リスクが高くなります。またイン  
フルエンザの流行も懸念されます。  
組合員の皆さんは体調管理に努め、  
仕事・生活・組合活動の調和を取る  
ようにしてください。

昨年の大きな出来事といえば、イ  
スラエルとハマスとの衝突です。も  
はや戦争という状況になっています。  
ロシアのウクライナ侵攻の報道が  
少なくなっていました。以前にも  
述べましたが戦争は絶対反対です。  
すべての戦争が停戦でなく終戦とな  
ることを願います。戦争は人の命を  
奪い、築き上げた文化を破壊するば  
かりでなく、その波紋は世界中に広  
がります。ロシアのウクライナ侵攻  
では、食料不足・物不足の発生、物  
流の滞り、インフレーションや難民  
の発生など様々なところで影響が出  
ました。現在戦争は局地的に発生し

ている状況であり、ヨーロッパやア  
メリカは第3次世界大戦抑止のため  
直接参戦はしていません。しかし局  
地的戦争が多数発生し、日本の近く  
で発生した場合に私たちはどの様な  
行動を取ったら良いのでしょうか。  
本場に戦争を起すことはならないと  
改めて思い知らされます。

海外がインフレーション対策で金  
利を上げているにも関わらず、日本  
においては、継続してマイナス金利  
政策を実施しているため数十年ぶり  
という円安になってしまいました。

やと日本銀行も長期金利の上限の  
拡大を容認することになりましたが、  
マイナス金利政策の解除は物価目標  
とセットとしており、円安傾向は変  
わっていません。石油や鉱物資源だ  
けでなく様々な資源のほとんどを輸  
入に頼っている日本にとって円安は  
大きな打撃となっています。

以上のような社会状況のなか、今  
春闘でもベースアップを獲得したい  
と考えます。外部動向としては、岸  
田内閣では賃上げの流れの継続を表  
明しています。経団連も賛同の方向

です。特に昨年春闘でベースアップ  
をしなかった会社に注視し今春闘で  
は確実にベースアップを獲得しまし  
ょう。生活に直結する電気・ガスとい  
つたインフラ、食料、生活用品の値上  
げは私達の生活へ大きな打撃となっ  
ています。そのような状況でベース  
アップ無しの回答を行う企業は経営  
責任を果たしているとは言えません。  
労働組合としては回答を改めさせな  
ければなりません。

賃上げの要求としては、インフレ  
ション分に加えて生活改善分も必要  
です。日本経済の活性化や景気の底  
上げにはGDPの5割以上を占める  
個人消費のアップが必須だからです。  
非正規労働者の処遇改善、最低賃金  
の大幅アップなどの要求実現を指  
すことも労働組合として必要です。

賃上げ以外の要求も出していきま  
す。私達電算労に集うIT労働者の  
労働条件は、恵まれたものではありません。  
各組合において議論を行い  
要求してください。

電算労では春に行っている経営申  
入れを、昨年は対面でI社、WEB

会議で1社実施することが出来まし  
た。今年は対面で行うのかWEB会  
議で行うのかは未定ですが、経営の  
考えを聞く機会はなかなかないため、  
昨年の実績を活かし何らかの活動は  
実施したいと考えています。

電算労の新年のイベントとしては  
旗開きがあります。今年は対面の形  
式とWEB会議の形式の両方で開催  
することになりました。WEB会議  
の形式であれば気楽に参加可能で  
すし、対面での参加も歓迎します。参  
加をきっかけにして、団結を強めて  
いきましょう。

今年が、組合員の皆さんにとって  
良い年になることを祈念し、新年の  
挨拶とさせていただきます。





写真提供＝連合通信社

女性参政権を獲得するために政府の力を得ることが必要であり、政府と駆け引きをするために戦争協力の道を選んだのでしょうか。その思

新春インタビュー

政府に絡め取られないために

法政大学前総長 田中優子さん

男女間格差を不すジェンダー・ギャップ指数が近年、大きく報じられ、日本の著しい立ち遅れが指摘されるようになりました。日本政府も「女性活躍」をさかんに強調しています。ジェンダー平等の実現をめざして行動する一人として、社会の変化を心強く感じています。

れ、利用されてしまうのではないかと、という危機感を抱いています。なぜ、そう思うかという点、歴史がそう教えているからです。戦前・戦中・戦後にかけて、男女平等、女性の地位向上に生涯をかけた女性活動家、市川房枝は日中全面戦争以降、女子勤労動員の促進や植民地での皇民化教育など、競争協力の一翼を担いました。市川は戦前、反戦を主張していました。なぜ主張を変えたのか。そこには「女性参政権実現のため」という強い思いがあったといわれています。

いは当時の政府に利用されました。どんな性であろうと個人としての権利を尊重・保障するのがジェンダー平等であり、それに対して命と人権を軽んじ踏みこむのが戦争です。この二つは対極です。この当たり前の感覚をまひさせられてしまわないように、ジェンダー平等の実現と、「戦争する国」への準備に反対する声を、同時にあげなければならぬと思います。「新しい戦前」といわれる今、私たちは市川房枝の教訓に学ぶべきです。

家父長的な家族像

岸田政権は、敵基地攻撃能力（反撃能力）など戦争できる国づくりを2024年も強めるでしょう。「憲法改正」も掲げています。その動きが、自民党の憲法改正草案（2012年策定）が示す方向へと勢いづくことを、私は最も警戒しています。衆院の憲法審査会では議員の任期延長が必要だと、自民や公明、維新、国民民主が主張しています。もし仮に、国民の多くが「憲法を変えてもいいかな」と思うようになれば、改憲派はあれもこれもと次々に他の条文の改正を主張し、全面的な改正へと雪崩を打つので

はないでしょうか。それが改憲派の本当の狙いだと考えています。

自民党の改憲草案は、日本の国の正骨を天皇とし、「国防軍」の新設を掲げています。13条「すべて国民は、個人として尊重される」の個人を「人」に置き換え、24条では「家族」を基礎的な単位としました。自民党は、一人一人を尊重する姿勢をないがしろにし、ジェンダー格差を生む家父長的な家族像を憲法に盛り込もうとしています。

改憲草案に沿う国になったら、私たちの日々の暮らしはどう変わるか、想像してみてください。改憲の動きはジェンダー平等に反します。政府の思惑に絡め取られてはなりません。

プロフィール たなかゆうこ

1952年生まれ。専門は江戸文学・江戸文化。『江戸百夢』で芸術選奨文部科学大臣賞などを受賞。2014年から21年まで法政大学第19代総長。「九条の会」世話人など、憲法9条を守る活動でも積極的に行動・発言を続けている。『落語がつくる（江戸東京）』（編、岩波書店）など著書多数。

電算労2024春闘アンケートご協力をお願い

電算労の組合員のみならず、職場の周りの電算労組合員以外の方にも声をかけ、みなさんで下記ページのアンケートにご協力ください。

コンピュータの職場で働く人のアンケート

<https://kikimas.net/densanro/answer/?no=21>

アンケート結果は、電算労ホームページで3月に公開します。



# 2023年国内10大ニュース

◆**ワールド・ベースボール・クラシック14年ぶり優勝**  
侍ジャパン、7戦全勝で14年ぶりにWBC制覇（3月）。米国との決勝戦9回表、大谷翔平が抑え投手として登板。160キロを超える速球とスライダーでエンジェルスと同僚のトラウトを仕留め、宙に舞う。ヌートバーの「ペッパーミル」が話題に。

◆**物価高騰下の春闘、満額回答続出**

41年ぶりの物価高騰下での春闘、大手の満額回答続出（3月）。経団連も賃上げを「企業の社会的責務」と踏み込む。数十年ぶりの賃上げとなったが、物価上昇には届かず。一方、大企業は円安で最高益続出。

◆**議員任期延長改憲、衆院憲法審査会で前のめり**

衆議院憲法審査会で、緊急事態下の国会議員の任期延長の改憲論議が強められる。災害時に必要との主張に対し、権力への居座りという悪用の恐れがあることや、参院の「緊急集会」で対応可能と立憲野党が反論。なぜそうまでして「改憲」を急ぐのか。

◆**被爆地で「核抑止肯定」に怒り**

被爆地広島でG7広島サミット（主要7カ国首脳会議）が開催される。バイデン米大統領をはじめ各国首脳が原爆資料館を約40分間見学する。一方、核軍縮に関する広島ビジョンに、「核抑止」を肯定する記述が盛り込まれたことに落胆と批判。

◆**新型コロナの感染症対応、5類に移行**

新型コロナ感染症の感染症法上の位置づけを2類相当から5類に移行（5月）。観光地、イベントなどへの客足戻る。一方、全数把握から定点観測に監視体制が緩む中、感染者数が増加し「第9波」の到来明らかに。救急医療のひっ迫が続いた。

◆**熟議なき国会、安全、平和、人権、ないがしろに**  
LGBT理解増進法が成立（6月）。差別禁止条項なく差別助長の文言追加。老朽原発の稼働に道開くGX法、軍需産業を国が丸抱えで支える防衛産業支援法、難民申請中の国外退去を可能にする入管法改正も成立。熟議なき国会にため息。

◆**マイナ誤登録、健康保険証廃止に怒り広がる**

マイナ保険証の誤登録が次々に発覚する（5月～）。既往歴など高度な個人情報のずさんな管理に怒り爆発。24年秋での現行の健康保険証廃止方針にさらに批判沸騰。「デジタル化」推進の掛け声の下、世界に誇る国民皆保険制度が危機に。

◆**最低賃金改定、加重平均で初の千円台に**

23年度の地域別最低賃金改定は、全国加重平均で43円引き上げ1004円に（8月）。特に低額県での目安への大幅な上積みが目をつけた。岸田首相、「2030年代半ばまでに最賃が全国加重平均で1500円となることをめざす」と表明。

◆**百貨店で61年ぶりのストライキ**

百貨店の売却をめぐり、そごう・西武労組が雇用確保を求め、池袋本店でスト（8月）。終日、営業を止める。大規模百貨店のストは61年ぶり。団体交渉を拒み続けていた親会社の姿勢を変えさせた、スト権確立の効果明らかに。

◆**人権感覚が問われたジャニーズ問題**

国連人権理事会が訪日調査を行い、ジャニーズ事務所創業者による少年への性加害問題に言及（8月）。主要メディアもようやく報じ始め。取引を中止する企業相次ぐ。人権をないがしろにした企業の末路。他山の石に。

お日さま新報   
小菅りや子



★ 締め切りは 3月31日 ★

正解者の中から5名の方に  
1,000円のQUOカードを差し上げます。  
応募先E-mail : quiz2024@union-net.or.jp

前回の当選者

上野 敏、宮本、森澤英雄、山口浩平 (NJK支部)  
町田史雄 (TW分会)

敬称略

# 2024電算労旗開きのお知らせ

電算労旗開き今年の余興は何でしょうか?お楽しみ!

日時: 2024年1月5日(金)、18:30より

場所: 組合事務所 (Web会議も併設します)

Zoom (短縮URL) <https://bit.ly/48d2Jgh>

ミーティングID: 897 8800 8262 パスコード: 537047

